

平成23年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年5月13日

上場取引所 大

上場会社名 タツモ株式会社

コード番号 6266 URL <http://www.tazmo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 池田 俊夫

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長兼経営企画室長 (氏名) 亀山 重夫

TEL 0866-62-0923

四半期報告書提出予定日 平成23年5月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年12月期第1四半期の連結業績(平成23年1月1日～平成23年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年12月期第1四半期	4,234	265.4	448	—	452	—	450	—
22年12月期第1四半期	1,158	△3.9	△95	—	△88	—	△49	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年12月期第1四半期	132.37	—
22年12月期第1四半期	△14.62	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年12月期第1四半期	11,395	6,729	59.1	1,979.48
22年12月期	12,924	6,324	48.9	1,860.33

(参考) 自己資本 23年12月期第1四半期 6,729百万円 22年12月期 6,324百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年12月期	—	—	—	16.00	16.00
23年12月期	—	—	—	—	—
23年12月期(予想)	—	—	—	24.00	24.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年12月期の連結業績予想(平成23年1月1日～平成23年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,714	32.3	259	35.5	261	34.5	200	6.3	58.92
通期	11,493	6.2	497	34.4	500	41.0	415	8.1	122.09

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	23年12月期1Q	3,400,000株	22年12月期	3,400,000株
---------------------	-----------	------------	---------	------------

② 期末自己株式数	23年12月期1Q	349株	22年12月期	276株
-----------	-----------	------	---------	------

③ 期中平均株式数（四半期累計）	23年12月期1Q	3,399,699株	22年12月期1Q	3,399,814株
------------------	-----------	------------	-----------	------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりますが、この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) セグメント情報	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
4. 補足情報	9
受注の状況	9

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間における世界経済は、新興国の経済成長がみられましたが、中東諸国において民主化に向け緊迫した状態が続いており、不透明な状況で推移いたしました。日本経済も円の高止まり、企業収益や設備投資も厳しい状況で推移いたしました。さらに、平成23年3月11日に発生した東日本大震災により、日本経済を取り巻く環境は一変いたしました。

当社グループが属する電子機器業界におきましては、東日本大震災による災害と原発問題により、東北地方や関東地方を拠点とする生産工場及び部材供給工場の多くは、操業停止や減産を余儀なくされており、長期間にわたり影響を受ける見込みであります。

このような経営環境のなか、当社グループは液晶、半導体製造装置の営業強化、新規開発に取り組んでまいりました結果、当第1四半期連結会計期間における売上高は前年同期に比べ3,075百万円増収の4,234百万円(前年同期比265.4%増)、営業利益448百万円(前年同期は営業損失95百万円)、経常利益452百万円(前年同期は経常損失88百万円)、四半期純利益450百万円(前年同期は四半期純損失49百万円)となりました。

セグメントの業績につきましては以下のとおりとなっております。

(プロセス機器事業)

液晶製造装置部門につきましては、昨年度製造、出荷の大型装置が、検収となり売上は増加いたしました。反面受注残高は、減少いたしました。その結果、当第1四半期連結会計期間の売上高は2,719百万円になりました。半導体関連機器につきましては、設備投資が、回復基調となり売上、受注ともに順調に推移いたしました。当第1四半期連結会計期間の売上高は1,104百万円となりました。

以上の結果、プロセス機器事業の売上高は3,824百万円になりました。利益につきましては、原価低減、経費削減の効果及び半導体関連機器の回復により、営業利益450百万円となりました。

(金型・樹脂成形事業)

金型・樹脂成形事業につきましては、デジタル家電製品向けなどの材料を主体として、売上は回復しておりますが、販売単価については厳しい状態が続いております。当第1四半期連結会計期間の売上高は410百万円、営業損失1百万円(前年同期は営業利益14百万円)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(流動資産)

当第1四半期連結会計期間末の流動資産は、前期末に比べ1,489百万円減少し7,677百万円となりました。これは主に、「仕掛品」の減少額1,354百万円によるものであります。

(固定資産)

当第1四半期連結会計期間末の固定資産は、前期末に比べ40百万円減少し3,717百万円となりました。これは主に、「有形固定資産」の減少額40百万円によるものであります。

(流動負債)

当第1四半期連結会計期間末の流動負債は、前期末に比べ1,764百万円減少し3,574百万円となりました。これは主に、「前受金」の減少額2,064百万円によるものであります。

(固定負債)

当第1四半期連結会計期間末の固定負債は、前期末に比べ169百万円減少し1,091百万円となりました。これは主に、「長期借入金」の減少額105百万円によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前期末に比べ404百万円増加し6,729百万円となりました。これは主に、「利益剰余金」の増加額395百万円によるものであります。当第1四半期の自己資本比率は59.1%になりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、平成23年2月10日公表いたしました「平成22年12月期 決算短信」の業績予想から変更はありません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

当第1四半期連結会計期間において、重要な関係会社の異動はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

1. たな卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末のたな卸資産の算出につきましては、実地たな卸を省略し前連結会計年度末の実地たな卸高を基礎として合理的な方法により算出しております。

2. 繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関して、前連結会計年度末以降に経営環境等の著しい変化が生じておらず、かつ、一時差異等の発生状況について前連結会計年度末から大幅な変動がないと認められる場合は、前連結会計年度末において使用した将来の業績予想やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

3. 税金費用の計算方法

税金費用については、四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

資産除去債務に関する会計基準の適用

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。これによる影響額ははありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成23年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,155,897	1,827,889
受取手形及び売掛金	2,227,866	2,518,823
商品及び製品	106,088	75,132
仕掛品	2,423,078	3,777,528
原材料及び貯蔵品	337,329	309,393
繰延税金資産	390,551	390,705
その他	44,067	275,375
貸倒引当金	△7,509	△8,143
流動資産合計	7,677,370	9,166,706
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,766,909	3,765,892
減価償却累計額	△1,997,136	△1,966,519
建物及び構築物（純額）	1,769,773	1,799,373
機械装置及び運搬具	1,743,292	1,737,111
減価償却累計額	△1,323,352	△1,284,744
機械装置及び運搬具（純額）	419,940	452,367
その他	1,658,723	1,633,819
減価償却累計額	△544,384	△540,809
その他（純額）	1,114,339	1,093,010
有形固定資産合計	3,304,053	3,344,751
無形固定資産		
ソフトウェア	30,307	28,860
その他	7,257	7,257
無形固定資産合計	37,564	36,118
投資その他の資産		
投資有価証券	278,514	279,273
繰延税金資産	408	420
その他	144,734	141,546
貸倒引当金	△47,292	△44,035
投資その他の資産合計	376,365	377,204
固定資産合計	3,717,983	3,758,074
資産合計	11,395,353	12,924,780

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成23年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,766,294	1,570,525
短期借入金	452,993	505,696
未払金	443,622	487,331
未払法人税等	7,681	18,712
前受金	557,389	2,622,199
製品保証引当金	119,620	89,600
賞与引当金	97,044	24,261
その他	129,846	20,891
流動負債合計	3,574,491	5,339,217
固定負債		
長期借入金	651,280	756,850
退職給付引当金	22,909	21,982
役員退職慰労引当金	259,350	255,800
その他	157,790	226,323
固定負債合計	1,091,330	1,260,956
負債合計	4,665,822	6,600,174
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,395,240	1,395,240
資本剰余金	1,909,398	1,909,398
利益剰余金	3,513,906	3,118,276
自己株式	△644	△551
株主資本合計	6,817,899	6,422,363
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△2,848	△2,089
為替換算調整勘定	△85,519	△95,667
評価・換算差額等合計	△88,368	△97,756
純資産合計	6,729,531	6,324,606
負債純資産合計	11,395,353	12,924,780

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年1月1日 至 平成22年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年3月31日)
売上高	1,158,886	4,234,746
売上原価	857,161	3,347,440
売上総利益	301,725	887,306
販売費及び一般管理費	397,672	438,411
営業利益又は営業損失(△)	△95,947	448,894
営業外収益		
受取利息	2,182	760
受取賃貸料	4,524	2,244
受取手数料	828	847
為替差益	3,007	1,989
その他	2,401	2,403
営業外収益合計	12,943	8,245
営業外費用		
支払利息	4,943	3,286
その他	260	970
営業外費用合計	5,204	4,256
経常利益又は経常損失(△)	△88,208	452,883
特別利益		
固定資産売却益	57	—
特別利益合計	57	—
特別損失		
投資有価証券評価損	50	—
固定資産除却損	30	63
特別損失合計	80	63
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△88,230	452,820
法人税等	△38,519	2,795
少数株主損益調整前四半期純利益	—	450,025
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△49,710	450,025

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年1月1日 至 平成22年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△88,230	452,820
減価償却費	99,581	78,903
売上債権の増減額(△は増加)	923,452	289,637
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,648,165	1,295,804
仕入債務の増減額(△は減少)	795,193	190,203
前受金の増減額(△は減少)	915,417	△2,071,157
その他	△175,788	150,882
小計	821,459	387,094
法人税等の支払額	△29,639	△6,103
その他の支出	△2,221	△2,559
営業活動によるキャッシュ・フロー	789,598	378,431
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△502,935	—
有価証券の償還による収入	—	150,000
有形固定資産の取得による支出	△18,924	△13,971
無形固定資産の取得による支出	△4,122	—
その他	△1,789	△226
投資活動によるキャッシュ・フロー	△527,772	135,802
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△28,866	△37,601
長期借入金の返済による支出	△140,564	△121,409
自己株式の取得による支出	—	△92
配当金の支払額	△137	△41,081
財務活動によるキャッシュ・フロー	△169,567	△200,184
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,480	13,701
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	94,738	327,750
現金及び現金同等物の期首残高	1,971,764	1,818,123
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,066,502	2,145,874

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

(セグメント情報等)

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第1四半期連結累計期間（自 平成22年1月1日 至 平成22年3月31日）

	プロセス 機器事業 (千円)	金型・樹脂 成形事業 (千円)	合計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	784,259	374,626	1,158,886	—	1,158,886
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	784,259	374,626	1,158,886	—	1,158,886
営業利益又は営業損失（△）	△110,873	14,925	△95,947	—	△95,947

〔セグメント情報〕

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、製品やサービスの特性及び販売市場の類似性から区分される「プロセス機器事業」及び「金型・樹脂成形事業」の2つを報告セグメントとしております。

「プロセス機器事業」は、液晶ディスプレイや半導体などの電子デバイス製造プロセス機器及びその周辺機器類の開発、製造、販売、保守、メンテナンスを行っております。

「金型・樹脂成形事業」は、樹脂成形用精密金型及び樹脂成形品の製造、販売を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第1四半期連結累計期間（自 平成23年1月1日 至 平成23年3月31日）

(単位：千円)

	プロセス機器事業	金型・樹脂成形事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	3,824,737	410,009	4,234,746
セグメント間の内部売上高又は振 替高	—	—	—
計	3,824,737	410,009	4,234,746
セグメント利益又は損失（△）	450,886	△1,992	448,894

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第1四半期連結累計期間（自 平成23年1月1日 至 平成23年3月31日）

該当事項はありません。

(追加情報)

当第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

- （6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

4. 補足情報

受注状況

当第1四半期連結会計期間の受注状況をセグメントごとに示すと次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高（千円）	受注残高（千円）
プロセス機器事業	1,542,393	2,986,590
液晶製造装置	717,767	1,443,530
半導体関連機器	824,625	1,543,059
金型・樹脂成形事業	290,336	161,688
合計	1,832,729	3,148,278

- （注） 上記の金額には消費税等は含まれておりません。